

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4170300489
法人名	特定非営利活動法人 菜々の会
事業所名	グループホーム めぐみ
所在地	佐賀県鳥栖市儀徳町2907番他 (電話) 0942-48-1033

評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝1丁目1224番2		
訪問調査日	平成 19年 9月 21日	評価確定日	平成 19年 10月 15日

## 【情報提供票より】(平成 19年8月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	人, 非常勤 人, 常勤換算 6 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	4,500 円	
敷金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	650 円	おやつ	円
		または1日当たり		円

### (4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1	5 名	要介護2	1 名			
要介護3	1 名	要介護4	2 名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	78 歳	最低	71 歳	最高	92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	古賀医院、聖マリア病院、古賀俊哉歯科クリニック
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は鳥栖市のJR肥前旭駅近くの住宅街の中に位置し、広い敷地内に協力医療機関と隣接した新築の木造平屋建てのホームである。「ゆっくりとした時間の流れ」、「個人の尊厳」、「支えあい、生かしあう関係」、「出会いと関わりを喜び感謝する」という理念を掲げて、地域の中でその人らしい暮らしが実現するよう努力されている。ご家族の訪問の頻度が高く、ホームとの関係がたいへん緊密であり、理念はご家族にも十分浸透している。今後、運営推進会議の設置や地域との交流を深め、各般にわたって地域の協力が得られるよう積極的な取り組みがなされることを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての外部評価である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者を含む全職員で行い、サービスの質の向上に努められている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議はまだ設置されていない。市の担当者等の協力を受けて早急に立ち上げて、地域の様々な分野からの参加を呼びかけ、サービスの質の向上に繋がる意見が得られるよう取り組まれることを期待する。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族に対しては、毎月、確実に、入居者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理(一部)等について訪問時に個別に報告がなされている。また、ご家族の意見、苦情等についても表出し易い雰囲気の中でよく話を聞いて、運営に反映させるよう努められている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の活動や行事についての情報を集め、入居者が参加できるよう働きかけ、地域住民との交流を深めるとともに災害時の協力体制の確保についても併せて取り組みがなされるよう期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくりとした時間の流れ」、「個人の尊厳」、「支えあい、生かしあう関係」、「出会いと関わりを喜び感謝する」という独自の理念をつくりあげられていた。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	居間の見やすい場所に理念をしたためたものが掲示されており、管理者と職員は日々理念を確認し合って共有し、理念の実践に努められていた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の特定の人たちとの交流はあるが、地域の自治会への加入や、地域活動、行事への参加はこれからの課題になっていた。現在、これらの取り組みについて検討がなされている。	○	地域活動、行事等の情報を収集し、入居者が地域の一員として参加できるように地域に働きかけて地域住民との双方向の交流が深まるよう取り組まれることが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価は今回が最初である。自己評価の実施に当たっては評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組まれていた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はまだ設置されていなかった。現在、市の担当者の助言を得ながら設置に向けて準備中であった。	○	早急に運営推進会議を設置して、地域の様々な分野からの参加を呼びかけて、サービスの質の向上に繋がる意見が得られるよう取り組まれることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは地域密着型サービスの推進を図るための情報提供や協力を得られるよう交流が図られていた。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族の方たちの訪問頻度が高く、ホームとの緊密な関係ができていた。その訪問時に、介護記録に基づき入居者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理(一部)等について個別的に報告されていた。職員の異動についても報告されていた。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の訪問時に意見、不満、苦情を管理者や職員がよく聴き、それを運営に反映させる体制が取られていた。また、外部機関でも意見、苦情を言える機会や場があることの説明も行われていた。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者、ご家族への信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応するのが重要と考えられており、職員の異動は最小限に抑える努力がなされていた。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者及び職員は段階に応じた研修を受けられていた。新人研修が採用後1ヵ月以内に実施、職員研修会が毎月開催となっており、働きながらのトレーニングも行われていた。外部研修を受講した場合は、職員研修会で伝達、周知が図られていた。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流はまだ行われていなかった。今後交流の機会を持ち、勉強会や相互訪問等をしてサービスの質の向上に役立てたいとの意向があり、現在検討中であった。	○	近隣のグループホームとのネットワークづくり、勉強会や交流が進みサービスの質の向上に繋がることを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者が安心して、納得してサービスを利用することができるよう、入居前の見学や体験入居などの対応がなされていた。また、入居者がホームの雰囲気に徐々に馴染めるようそれぞれのご家族とよく相談して対応のあり方を個々に工夫されていた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、ゆっくりしたペースで、一緒に日々を過ごし、喜怒哀楽を共にしながら、ご本人たちの長年培われた得意なことを発揮してもらい学び合い支え合う関係づくりに努められていた。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族からの情報も得ながら、日々の関わりの中で、ご本人の思いや暮らし方の希望や意向の把握に努められていた。困難な場合はご本人本位に検討されていた。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方については、ご本人、ご家族、職員等よく話し合い、その意見やアイデアを反映した個別的かつ具体的な介護計画が作成されていた。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行い、見直し前に状況の変化が生じた場合は、ご本人、ご家族、職員で協議を行って状況に即した新たな計画が作成されていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族ができない場合の通院介助、理美容院利用支援などの外出支援、ご家族がご本人と一緒に食事を楽しめるよう昼食の提供もされており、必要に応じた柔軟な支援がなされていた。また、歩行困難な方の要望により訪問美容も導入されていた。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人が希望される馴染みのかかりつけ医で継続して受診できるよう支援されていた。ご家族と相談しながら、看護師によるそれぞれのかかりつけ医との話し合いや情報のやりとりが行われていた。隣接して協力医療機関も確保されていた。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者及びご家族の申し出によりターミナルケアを希望する場合はその受け入れ態勢を整え対応する旨利用契約書に明記されており、医師及び職員と話し合いの上で実施されていた。現在、重度化に伴う意志確認書及び終末期に関する対応指針等は作成中であった。	○	ご本人、ご家族と終末期に向けた話し合いを繰り返し行い、その意向に基づく終末期の対応指針等をなるべく早い段階に作成して、関係者全員で共有できるようにされることを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員研修会で入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応のあり方が話し合われその徹底が図られていた。さりげない言葉かけ、誘導など多くの場面で配慮がなされていた。個人情報の保護についても十分に留意されていた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一人ひとりのペースを大切にして、それぞれの体調に配慮しながらその日をどう過ごしたいか自分で決めたり、納得しながらその人らしい生活ができるよう個性のある支援がなされていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者と同じテーブルと一緒に食事を楽しみながらさりげなく介助されていた。豆のすじとりなど調理の下ごしらえの手伝いができる人には手伝ってもらい、配膳や後片付けも職員と入居者が一緒に行われていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応週3回の入浴日が予定されているが、入居者の希望に合わせて好きな時間に入浴できる。バルーンカテテル装着の方もおられ、それぞれの体調やプライバシーに配慮した入浴支援が行われていた。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの楽しみごととして、リハビリテーション、歌を歌ったり、民謡を聴いたり、相撲を見たり、書き方などがあつた。能力を活かすために、調理の下ごしらえ、配膳、食事の後片付けなどの仕事をお願いする形の場面づくりがなされていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には戸外の散歩や園庭での日光浴などを勧められていた。入居者の希望によって買物や花見などの外出支援なども行われていた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない暮らしをめざされていた。玄関の鍵はほとんどかけないが、危険な場合は一時的に掛ける時もあった。居室は入居者の希望により鍵を取り付けてあり、ご本人が必要に応じて内側からかけられることもあった。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	居室の全室に火災報知機が設置されており、警備会社に繋がっていた。入居者はまだ避難できる方法を身につけておられないようで、今後消防署等と連携により定期的に避難訓練を実施される予定である。	○	消防署との連携による避難訓練を早期に実施されることを期待したい。また、運営推進会議等の話し合いの中で地域に協力を呼びかけ、地域住民の参加を得た避難訓練の実施や協力体制の確保を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みや栄養バランスに配慮した栄養士による献立が作成されていた。一日の栄養摂取量や水分摂取量が入居者ごとに把握されていた。食餌療法が必要な方には主治医の指示に従った支援がなされていた。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	交通量の多い道路に面しているが奥まっているので静かな空間になっていた。採光も十分であった。季節の花を飾ったり、空調にも配慮されており、入居者は居心地よく過ごされていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	夫婦部屋があり、各居室はそれぞれに個性的であり、馴染みの家具、使い慣れたテレビや冷蔵庫、好きなぬいぐるみなどが持ち込まれ、思い思いに居心地や使い勝手を考えてレイアウトされていた。		